



# AI参謀が変える コンサルと中小企業の未来

大手コンサル再編と中小企業“参謀不在”的  
ギャップを埋める新提案

---

## TABLE OF CONTENTS

# アジェンダ

本プレゼンテーションの全体構造。  
コンサル業界の構造変化から、SolveWiseの  
具体的なソリューションまで、順を追ってご  
説明します。

- 01 コンサル業界の構造変化（概要）
- 02 大手コンサルのレイオフ事例
- 03 AIによる代替の実態
- 04 なぜ参謀が「AIで不要」になるか
- 05 中小企業の現状（参謀不在）
- 06 構造的ギャップの可視化
- 07 SolveWiseの立ち位置
- 08 価値提案（AI参謀+実装+基盤）
- 09 注意点と補足
- 10 総括と次のステップ

## INDUSTRY SHIFT

# コンサル業界の構造変化： AIによる“人海戦術”的終焉

## ✓ LLM/AIによる定型業務の自動化

リサーチ・要約・資料化・標準分析といった「知的ルーチンワーク」が、AIにより圧倒的な速度と低コストで実行可能に。

## ✓ 「時間課金×人海戦術」モデルの限界

多数のジュニアコンサルタントを稼働させる従来の収益モデルが、AIの効率化により成立しにくくなっている。

## ✓ ピラミッド構造から“スリム構成”へ

組織は「少数精銳のシニア層+AI」へとシフト。需要はAIで代替できない“高付加価値案件”や“実装支援”に集中。



# 大手コンサルのレイオフ事例

Source: Business Insider, FT, The Economic Times

PwC 米国  
2025年5月

**1,500 人**

全従業員の約2%にあたる大規模レイオフを実施。主に監査・税務部門が対象。「歴史的に低い離職率」による余剰が公式理由だが、AIによる業務効率化が背景にあると推察される。

人員削減

McKinsey  
最近の動向

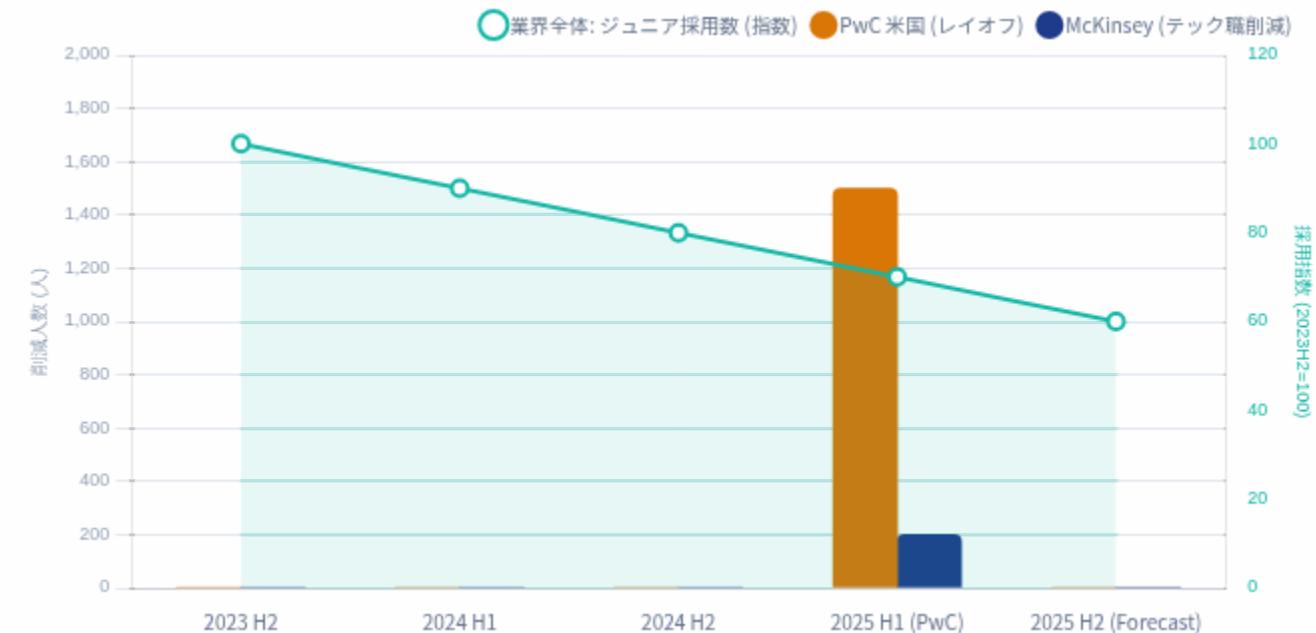
**200 人**

「テック職」を中心に削減を実施。「AIの活用で従来の役割が自動化可能になった」と明言。コンサルタント14人分の仕事を2~3人+AIで代替するモデルへの移行を示唆。

構造転換

## コンサル業界の人員削減と採用抑制トレンド

大手ファームにおけるレイオフ数および採用計画の推移（推定値含む）



AI代替リスク  
**高**  
定型リサーチ・分析

ジュニア採用  
**▼ 30%**  
対前年比予測

需要シフト  
**実装・戦略**  
高付加価値領域へ

# AIによる代替の実態：人員構造の劇的変化

従来型「14人体制」から「2~3人+AI」へのスリム化が進行中

## Consulting Structure Transformation Before and After



### ピラミッド構造の崩壊

かつての「多数のジュニア層による人海戦術」モデルが不要に。リサーチや一次分析が自動化され、組織はフラットな少数精鋭型へと移行しています。



### リードタイム短縮

数週間かかっていた市場調査や競合分析が、AIエージェントとの協働により数時間～数日で完了。意思決定のスピードが劇的に向上します。



### コスト構造の刷新

膨大な人件費（工数チャージ）に基づく高コスト体質から脱却。AI活用による固定費削減で、より付加価値の高い戦略業務に予算を集中可能です。

## STRUCTURAL ANALYSIS

# なぜ「AIで参謀不要」になりつつあるか

時間課金型・人海戦術モデルから、AI主導の高速意思決定プロセスへの構造転換



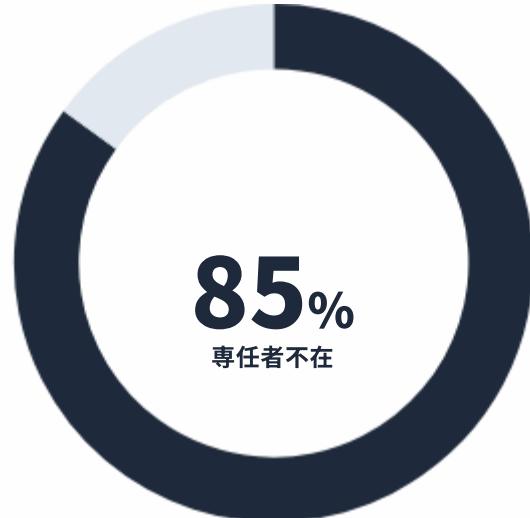
### KEY TAKEAWAY

従来の「情報整理・分析」プロセスがAIで瞬時に完結するため、人間の価値は「問い合わせの設定」と「実行・実装」の両端にシフトしている。

# 中小企業の現状：参謀不在とデータ未整備

## 経営企画・データ分析の専任不在率

中小企業における企画・戦略部門の設置状況



**i** 多くの中小企業では、社長や取締役、現場マネージャーが「経営企画」を兼務しており、実質的に戦略や分析に避ける時間は極めて限定期です。



01

### 経営企画・分析チームの不在

専任の参謀がおらず、経営陣が現場対応に追われている。「誰に頼めばいいか分からない」状態が常態化。



02

### データ基盤の未整備

販売・在庫・会計等のシステムが分断。Excelバケツリレーや手作業集計が蔓延し、分析以前に「整理」で疲弊。



03

### 「勘と経験」への過度な依存

客観的なデータ分析を行う土台がないため、結局は過去の経験則や直感だけで重要な経営判断を行わざるを得ない。



04

### 日常業務で手一杯

「Today (今日の売上)」を作ることにリソースが全振りされ、「Tomorrow (将来戦略)」を描くための俯瞰的な時間が取れない。

# 構造的ギャップの可視化

中小企業が直面する課題と、従来型解決策の限界点

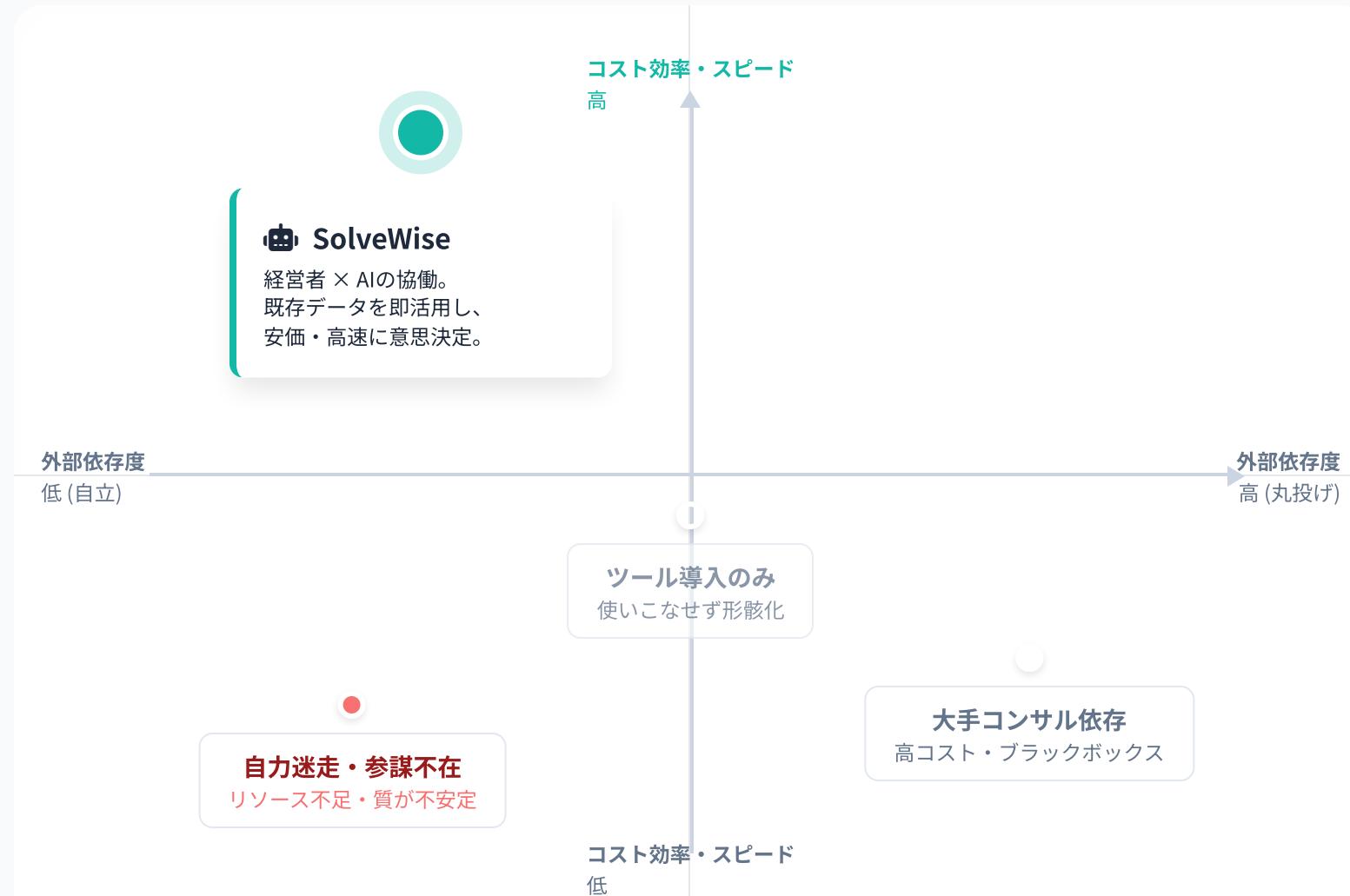


! 直面する課題	⌚ 従来の選択肢	🚫 今後の限界／問題点
<span>✖️</span> 中小企業に参謀がない 経営企画・データ分析の専任人材が不在	高コストで <u>大手コンサルに依頼</u> 「安心を買う」ための高額投資	<span>✖️</span> コスト対効果の悪化 AI代替可能な業務に高額を払うモデルの破綻
<span>☒</span> 定型作業・分析が煩雑 ルーチンワークでリソースが圧迫される	社内Excel・ <u>人力で対応</u> 現場の残業とマンパワー依存	<span>⌚</span> スピードとコストの劣後 AIなら数秒で完了する業務に人件費を浪費
<span>☰</span> データ・システムの断片化 基盤未整備で活用困難な状態	届人物的な <u>手作業管理</u> で凌ぐ 「あの人に聞かないと分からぬ」状態	<span>✖️</span> 拡張性と再現性の欠如 AI分析の土台すら作れず、DXが進まない
<span>☒</span> 外部依存の不透明性 コンサル利用時のブラックボックス化	専門家への <u>丸投げ依存</u> プロセスが見えず、ノウハウが残らない	<span>🔒</span> 透明性と内製化の阻害 AI活用による「自社で分かる化」と逆行

## KEY INSIGHT

「参謀不在」と「データ未整備」の二重苦に対し、従来の解決策（高額コンサル・人力依存）は限界を迎えている。  
 AIによる低コストかつ高速な解決策（SolveWise）が求められる構造的背景がある。

# SolveWiseの立ち位置：AI参謀という第三の選択肢



## ギャップを埋める 第三の選択肢

「高すぎる外部依存」も「孤独な意思決定」も選ばない。AI参謀が最適なバランスを提供します。



### 経営者 × AIの協働

全てを丸投げするのではなく、AIが提示する選択肢を基に、経営者が最終判断を下す「納得感」のあるプロセス。



### 導入障壁の低さ

大規模なシステム改修は不要。既存のExcelや断片的なデータから即座に分析を開始できる柔軟性。



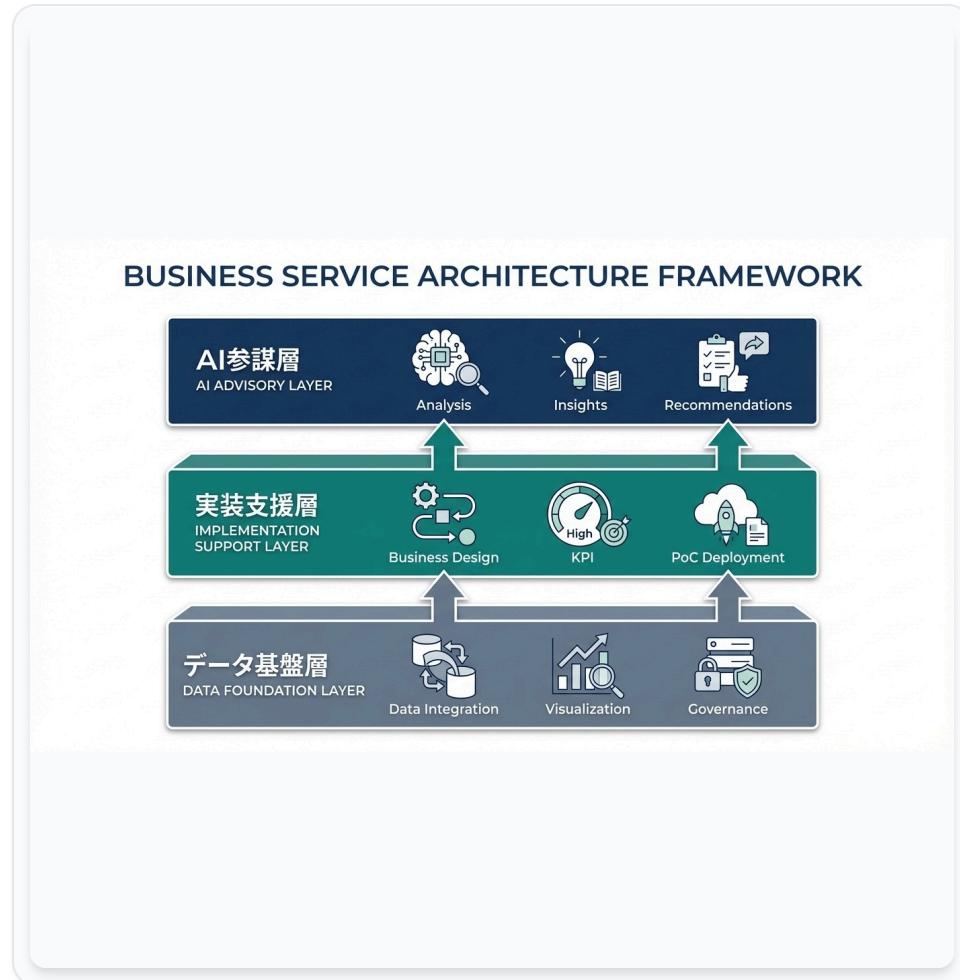
### コストと透明性の両立

プロセスがブラックボックス化しやすいコンサル依頼とは異なり、分析過程が可視化され、ノウハウが社内に蓄積。

# SolveWiseの価値提案

統合型AI参謀ソリューションによる経営変革

## 3レイヤー構造のアプローチ



AIによる分析、人間による実装、堅牢なデータ基盤を統合した「ワンストップ」支援体制

## 導入による4つの期待効果

### 意思決定の高速化

AIによる即時分析と論点整理により、検討期間を数週間から「数日」へ大幅短縮。機会損失を防ぐ。

### コスト効率の最大化

高額なコンサルタントの常駐を不要にし、必要な時に必要な分だけAI参謀を活用するスリムな体制を実現。

### 透明性の向上

外部への丸投げ（ブラックボックス化）を回避。自社データに基づく根拠ある意思決定プロセスを可視化。

### 社内ノウハウの蓄積

外部に流出していた分析知見やデータを、社内の「資産」として自社基盤に蓄積し、再利用可能にする。

# 注意点と補足：AIの限界と人間の役割



## 成功のための4つの留意点

AI参謀は魔法の杖ではありません。以下の前提条件を理解し、適切に導入する必要があります。

### 戦略・文化は「人」が創る



AIは論理的な最適解を出せますが、企業の「想い」や「熱量」、組織文化への適合性は判断できません。魂を入れるのはあくまで人間であり、AIはその支援役に徹するべきです。

### データ基盤の整備が必須



"Garbage In, Garbage Out"（ゴミを入れたらゴミが出る）。信頼できる分析結果を得るために、まずデータの整理・統合・クレンジングから始める必要があります。即効性には準備期間が必要です。

### 提案から実行への「伴走」



素晴らしい戦略があっても、実行されなければ「絵に描いた餅」です。AI参謀の提案を現場に落とし込むための業務設計や定着支援（伴走）こそが、成果を出すための鍵となります。

### セキュリティとガバナンス



社外秘データをAIに学習させる際のリスク管理や、AIの出力に含まれるバイアス（偏見）への配慮が必要です。適切な利用ガイドラインの策定が不可欠です。

# 総括：なぜ今こそSolveWiseのAI参謀か

Final Recommendations

## 1 コンサル業務のAI代替

分析・レポート作成などの定型業務はAIで代替可能に。従来の高コスト構造が変革期を迎えており。

## 2 中小企業の「参謀不在」解消

人材不足とコスト制約で空白だった経営企画・分析機能を、AI参謀が即座に補完する。

## 3 統合ソリューションの提供

単なるツール導入ではなく、「AI参謀+実装支援+データ基盤整備」をワンストップで実現。

## 4 圧倒的なコスト効率

大手コンサルに依存せず、大企業レベルの意思決定支援機能を現実的なコストで導入可能。

## 5 AI × 人の最適な協働

AIの分析力と人間の戦略・現場判断を組み合わせ、実効性と納得感を両立させる。

## Next Steps

導入に向けた具体的なロードマップ

### STEP 1 現状診断



### STEP 2 ミニPoC(実証実験)

特定課題での効果検証



### STEP 3 90日導入プラン

お問い合わせ・診断予約